

【12】飛行自在之法・不断求聞持大事・夢違之大事

写1冊

〔書名よみ〕 ひぎようじざいのほう・ふだんぐもんじだいじ・

ゆめたがえのだいじ 〔著編者〕 未詳

〔写刊年次〕 文政五年（一八二二）

〔内題〕 （ア）飛行自在之法

（イ）不断求聞持大事

（ウ）夢違之大事

〔外題〕 飛行自在之法

不断求聞持大事

夢違之大事 三寶院流秘事

〔その他〕 ナシ

〔残欠状況〕 全 〔保存状況〕 小破 〔装訂〕 袋綴・仮（紙縫）

〔丁数〕 五丁 〔本文用字〕 漢字 〔法量〕 縦一七・三×横一二・三糎

〔料紙〕 楮紙（奉書紙） 〔表紙〕 本文共紙 〔書入〕 注記（朱・墨）

〔表紙書入〕（右下）智教房尊岸 〔印記〕 ナシ 〔備考〕 尊岸一六二。

丁付あり。

〔奥書〕

（ア）時貞享三^丙寅年七月廿一日求之願主

生国武州紅戸足立郡浦和之脇武州新倉郡

大和田普光明寺弟子僧名智鏡房^卜申候

寛文十年五月南部永福寺下十二年居申候

（イ）不信非器者不可授也

（ウ）有此大事從醍醐三寶院經藏^二出^レ之可^レ秘^云

以上畢

津輕深浦智教房

尊岸

文政五^壬午年正月吉日

〔解題〕

本書は三点の合写本である。「飛行自在之法」は、文字通り、自在に飛行する法である。奥書によれば、貞享三年（一六八六）に「持求之願主」とあり、「武州江戸足立郡浦和」「武州新倉郡大和田普光明寺弟子僧名智鏡房」「寛文十年（一六七〇）五月南部永福寺下十二年居申候」とある。「夢違之大事」であるが、「夢違^{ゆめたがえ}」とは、悪夢を吉夢に換えることである。この奥書には、「右この大事、醍醐三寶院經藏より之を出す。秘すべし、秘すべし」とし、醍醐三寶院の經藏にあったものとその由来を記す。書写奥書には、「文政五年（一八二二）正月吉日 津輕深浦智教房尊岸」とあり、尊岸二十歳の書写である。

（渡辺 麻里子）

智教房
尊岸

○飛行自在之法

○不斷求聞持大夏

○夢違之大古又三寶院流秘夏

○飛行自在之法

先護身法

次向_テ日輪_ニ以_テ刀_ヲ仰_ラ左_ニ安_ニ腰_ニ仰_ケ

右_ニ釵_ヲ以_テ日輪_ニ之_ニ書_ク

次_ニ右_ニ中指_ヲ以_テ左_ニ之_ニ掌_ニ之_ニ

内_ニ吞_ク之_ニ即_ニ吞_ク之_ニ

永_ニ永_ニ永_ニ五
七六

永_ニ永_ニ永_ニ私_ニ其_ニ之_ニ人_ニ性_ニ實_ニ名_ニ書_ク之_ニ
永_ニ光_ニ大_ニ金_ニ性_ニ私_ニ榮_ニ永_ニ次_ニ九_ニ字_ニ之_ニ印_ニ明_ニ如_ニ常_ニ

室_ニ瓶_ニ之_ニ内_ニ南_ニ無_ニ九_ニ万_ニ八_ニ千_ニ之_ニ軍_ニ神_ニ此_ニ中_ニ來_ニ臨_ニ影_ニ而_ニ給_ニ
其_ニ人_ニ實_ニ名_ニ書_ク之_ニ日_ニ滿_ニ令_ニ守_ニ護_ニ給_ニ字_ニ列_ニ不_ニヤ

此_ニ三_ニ遍_ニ吹_ニ入_ニ即_ニ九_ニ字_ニ切_ニ其_ニ人_ニ息_ニ延_ニ命_ニ初_ニル
次_ニ右_ニ中_ニ指_ヲ以_テ左_ニ之_ニ掌_ニ之_ニ書_ク之_ニ永_ニ永_ニ永_ニ

三遍即吞也

次合掌

南_ニ無_ニ日_ニ輪_ニ摩_ニ利_ニ支_ニ尊_ニ天_ニ中_ニ地_ニ土_ニ禮_ニ
合_{セテ}三十_ニ禮_ニ也

次_ニ九_ニ字_ニ百_ニ遍_ニ具_ニ可_ニ終_ニ次_ニ念_ニ誦_ニ指_ニナ_ニカ_ニラ_ニ其_ニ心_ニ
息_ニ息_ニ災_ニ惡_ニ敵_ニ退_ニ敵_ニ能_ニク_ニ祈_ニ念_ニ任_ニ意_ニ云

右_ニ此_ニ秘_ニ法_ニ唯_ニ受_ニ一_ニ人_ニ也_ニ縱_ニ雖_ニ爲_ニ十_ニ金_ニ輒_ニ不_ニ可_ニ
相_ニ傳_ニ也_ニ可_ニ秘_ニ也

昔貞享三年七月廿日求之願主
生國武乃紅戶足立郡浦和之昭武乃新倉郡
大和田普光明寺弟子僧名智鏡房申修
寶文十年九月南都永福寺下土年居申以

不斷求聞持大事

二年內縛以_テ尤之大指_ヲ求_テ七遍

同_ニ以_テ大指_ヲ求_テ七遍招_テ三面宝珠印口傳_七及

次無所不至印_七及次_二大並招_七及

右每修_テ佛法敏_ニ昌富貴自在如意吉祥壽

福增長_ニ万物任_ニ意也

悉地成就大事

散乱之心_ヲ以觀念_{スル}一切善根不成就

諸願成就_{セシト} 思_ハ此印咒可修_テ之
印_ハ內縛_メ天_ヲ並右空_ヲ尤空_之
上_ニ置_之也 真言曰

系_ヲ印_ヲ三遍_ニ秘_ス密要術法印

公_ニ年_ニ虛合_メ普通合掌_メ當胸間_ニ日_ニ此觀合口傳
可_レ秘也

不信非器者不可授也

夢違_之大事

八字文殊印明曰 我_ヲ日_ニ氣_ヲ府_ヲマ_レズ

大威德印明

字_ヲ我_ヲ系_ヲ我_ヲ

一切有爲法

如夢如泡影

如露亦如電

應作如是觀

右此大事從_ニ西廂三寶院經藏_ニ出_テ可_レ秘_ス

以上畢

文政五_ニ年正月吉日

津輕深浦智教房

尊序